

平成25年度

第2回鈴鹿市公の施設の指定管理者選定委員会会議概要

日 時:平成25年5月17日(金) 18時30分～21時10分

場 所:鈴鹿市役所 本館12階 1204会議室

出席委員:5人(全員出席)

内 容:下記のとおり

1 非公募施設における指定管理者候補者の選定について

(1) 伝統産業会館について

伝統産業会館の指定管理者候補者について、非公募により伊勢型紙協同組合を選定することが妥当であると判断された。

主な審議内容は、次のとおり。

- ・産業分野、文化分野、観光分野等の他分野との連携を進め、相乗効果により施設目的をより効果的に達成できるものとする
- ・伊勢型紙資料館との一体的な管理運営は、歴史的な経緯からも困難であると考え、将来的には期待したい。
- ・事業者の経営等については、管理者として問題ない。
- ・産業の発展への寄与について、革新的な取組を期待したい。
- ・施設の活用を行政に対して、取組強化をお願いしたい。
- ・文化と産業を切り離して考えることは、伝統産業に関しては現実的でない。
- ・産地協議会が発展し、連携を進めていくことが望ましい。

(2) 鼓ヶ浦駐車場について

鼓ヶ浦駐車場と千代崎駐車場の指定管理者候補者について、それぞれ非公募により前者に対しては鼓ヶ浦観光協会、後者に対しては千代崎観光協会を選定することが妥当であると判断された。

主な審議内容は、次のとおり。

- ・出来高制で指定管理料を決めることは良い。
- ・同観光協会が管理することは、施設特性上仕方がない。
- ・閉鎖時において管理が組織的に行われていない点は改善をお願いしたい。

(3) 千代崎駐車場について
同上

(4) 稲生民俗資料館について
稲生民俗資料館の指定管理者候補者について，非公募により稲生民俗資料館運営委員会を選定することが妥当であると判断された。

主な審議内容は，次のとおり。

- ・施設特性や施設の経緯を考えると，地元の団体による管理が妥当である。
- ・利用者が減ってきているので，もう少し頑張っていたきたい。
- ・個人に依存する管理が見られるため，継続性が危惧される。
- ・この指定管理料で来館者が満足できるサービスを提供できる団体は，現状では稲生民俗資料館運営委員会しかないように考える。
- ・指定管理者制度ではなく，将来的には，地元の稲生地区地域づくり協議会への施設の移管も考慮できるのではないかと考える。

(5) 伊勢型紙資料館について
伊勢型紙資料館の指定管理者候補者について，非公募により伊勢型紙資料館運営委員会を選定することが妥当であると判断された。

主な審議内容は，次のとおり。

- ・伝統産業会館と同様の内容がいえる。
- ・他施設にもいえるが，保険について，来館者の安全のため，付保すべきもの
と考える。
- ・保険も含めて適正な運営となるように願う。

(6) 庄野宿資料館について
庄野宿資料館の指定管理者候補者について，非公募により庄野宿資料館運営委員会を選定することが妥当であると判断された。

主な審議内容は，次のとおり。

- ・施設特性や施設の経緯を考えると，地元の団体による管理が妥当である。

(7) コミュニティセンター（白子・神戸・合川・牧田）について
コミュニティセンターの指定管理者候補者について，非公募により白子コミュニティセンターに対しては白子コミュニティセンター運営委員会，神戸コミ

コミュニティセンターに対しては神戸コミュニティセンター運営委員会，合川コミュニティセンターに対しては合川コミュニティセンター運営委員会，牧田コミュニティセンターに対しては牧田コミュニティセンター運営委員会を選定することが妥当であると判断された。

主な審議内容は，次のとおり。

- ・施設自体の必要性が気になるが，公の施設として管理するのではあれば，妥当な団体であると考える。
- ・自主事業の実施や施設目的に寄与する取組を期待したい。

2 その他

第1回鈴鹿市公の施設の指定管理者選定委員会の会議録内容が確認され，承認された。

第3回の同委員会の開催日時，場所等を確認する。